

## SARscape6.1 バージョンアップの概要と手順

SARscape6.1 は、ENVI5.7 から導入されている新ライセンスシステムにて動作します。そのため、すでに ENVI5.7/SARscape5.7 をセットアップし新ライセンスシステムでご利用いただいていたお客様と、ENVI5.6.x/SARscape5.6.x 以前の旧ライセンスシステムでご利用いただいていたお客様とで、操作の手順が異なります。以下、それぞれのケースについて手順を記載します。

- ✓ 旧ライセンスシステムからのアップグレードで、かつ、旧ライセンスシステムではマシン固定ライセンスだった場合の手順
- ✓ 旧ライセンスシステムからのアップグレードで、かつ、旧ライセンスシステムではフローティングライセンスだった場合の手順
- ✓ すでに新ライセンスシステムにはなっており、認証されているライセンスのバージョンのみをアップグレードする場合の手順

その他、以下の点にご注意ください。

- セットアップは管理者権限を持つユーザで行ってください。また、ENVI と SARscape のそれぞれで用意されるインストールガイドを併せてご参照ください。
- SARscape のライセンスは、フローティングライセンスのみでご利用いただけます。そして、フローティングライセンスを認証するためには、別途専用のフローティングライセンス管理ソフトウェア Next Generation License Server をインストールする必要があります。
  - あくまでもライセンスを認証する端末にインストールが必要であり、単に利用するだけの端末ではこのソフトウェアのインストールは不要です。
  - Next Generation License Server には動作要件があります。詳細は別紙『IDL9.1/ENVI6.1 インストールガイド』をご参照ください。
- 上述の理由により、SARscape の利用については以下のいずれかを選択する必要があります。

- ENVI/SARscape を利用する端末にフローティングライセンス管理ソフトウェアもインストールし、自分自身に認証されたフローティングライセンスを参照して製品を利用する方法
- ENVI/SARscape を利用する端末とは別に、フローティングライセンス管理ソフトウェアもインストール・セットアップしたサーバ機を同一ローカルネットワーク上に配置し、クライアント端末はこのサーバ機からライセンスを取得して製品を利用する方法
- SARscape は、同じ端末に異なるバージョンが競合することはできません。そのため、SARscape6.1 をインストールする端末に古いバージョンがインストールされている場合、事前にこちらをアンインストールください。
- SARscape のライセンスには下位互換があります。プロジェクト等の関係で過去の解析と同じパラメータで処理を行うために、過去のバージョンの SARscape 実行環境も保持したい場合、ネットワーク接続された別クライアント PC に SARscape5.7 以前の環境を残して利用することが可能です。なお、SARscape5.6.x が動作する ENVI5.6.x は初期状態では新ライセンスシステムに対応していないため、併せて新ライセンスシステムに対応させるためのパッチをインストールしておく必要があります。
- SARscape6.1 は ENVI6.1 上で動作します。ENVI5.7 以前をご利用のお客様は、ENVI6.1 へのバージョンアップも併せてご検討ください。
- SARscape5.6.x の頃に Flexnet License Server を利用してフローティングライセンスでご利用いただいていた場合、TCP 通信ポートがこれまでの番号(デフォルト値: 7070)から 4080 および 40443 ポートに変更になります(後から別のものに変更することも可)。このため、ご利用のネットワーク環境や PC のファイアウォールの設定変更が必要になる場合もあります。詳細は別紙『IDL9.1/ENVI6.1 インストールガイド』をご確認ください。
- その他ご不明な点などあれば、下記までお問い合わせください

## お問い合わせ先

NV5 Geospatial 株式会社 テクニカルサポート support\_jp@NV5.com

## 旧ライセンスシステムからのアップグレードで、かつ、旧ライセンスシステムではマシン固定ライセンスだった場合の手順

### 【共通】

1. 製品ダウンロードサイトから必要なインストーラー式を入手します。

(ア) ENVI6.1 インストーラ

(イ) SARscape6.1 インストーラ

(ウ) Next Generation License Server インストーラ

### 【サーバ機での操作】

1. MongoDB の競合がないことや、ポート開放が済んでいることを確認のうえ、Next Generation License Server を管理者権限でインストールします。
2. Next Generation License Server のインストールフォルダの bin 配下にエクスプローラー等で移動します。デフォルトのインストール先は以下の通りです。
  - (ア) Windows: C:\Program Files\NV5\license\_server\bin
  - (イ) Linux: /usr/local/NV5/license\_server/bin
3. 管理者権限で管理者ツールを起動します
  - (ア) Windows: license\_administrator.exe を右クリックし管理者権限で起動
  - (イ) Linux: license\_administrator.sh を管理者権限で実行
4. Activate License ボタンを押下し、認証コードと数量を入力して Activate ボタンを押下します
  - (ア) 認証コードについては以前のものから変更はありません。不明な場合には弊社担当営業までお問い合わせください。
  - (イ) 以前使っていたライセンスの事前解除は不要です。

5. View License ボタンを押下し、認証したライセンスが表示されることを確認します。管理者ツールを閉じます。

**【クライアント端末での操作】**

1. ENVI 6.1 > SARscape6.1 の順にインストールします。
2. ENVI6.1 に含まれる「ENVI IDL License Administrator」を起動します
  - (ア) Windows: すべてのアプリ > ENVI 6.1 > ENVI-IDL License Administrator を起動
  - (イ) Linux: ターミナルで管理者権限にて `envi_idl_license_admin` コマンドを実行
3. Use License Server ボタンを押下して必要な設定を行い、Connect ボタンで接続します
  - (ア) Server には接続先サーバのローカル IP アドレスまたはドメイン名を設定します。サーバ機とクライアント端末が同じである場合、localhost と設定します。
  - (イ) Port はデフォルトでは 4080 となっています。何らかの理由により HTTPS 通信を明示してサーバクライアント間の通信を行いたい場合には、Secure ボタンにチェックを入れ、40443 ポートに変更してください。
4. View Licenses ボタンを押下し、Show Dashboard ボタンを押下して、指定のブラウザでサーバ機のライセンス管理ダッシュボードにアクセスできることをご確認ください。
5. ENVI IDL License Administrator を閉じ、ENVI/SARscape が利用できるかご確認ください。
6. ライセンス規約上、動作確認が済んだ段階で、クライアント端末に認証されていた古いライセンス情報を破棄いただく必要があります。この操作は、以下のフォルダ配下のファイルを削除することで完了します。
  - (ア) ENVI5.6.x 以前の古いバージョンの ENVI を引き続きご利用になりたい場合、パッチを適用ください。なお、SARscape6.1 はこの環境では動作しません。

C:\Program Files\Harris\license\flexera
/usr/local/harris/license/flexera

## 旧ライセンスシステムからのアップグレードで、かつ、旧ライセンスシステムではフローティングライセンスだった場合の手順

いままで Flexnet License Server が利用されていた端末が引き続きサーバ機となる前提で記載しています。別のサーバ機をご用意いただく場合には、その端末を利用した新規でのセットアップと同じ操作になりますので、別紙で提供される ENVI および SARscape のインストールガイドをご参照ください。

### 【共通】

1. 製品ダウンロードサイトから必要なインストーラー式を入手します。
  - (ア) ENVI6.1 インストーラ
  - (イ) SARscape6.1 インストーラ
  - (ウ) Next Generation License Server インストーラ

### 【サーバ機での操作】

1. いままで Flexnet License Server が利用されていた端末について、MongoDB の競合がないことや、ポート開放が済んでいることを確認のうえ、Next Generation License Server を管理者権限でインストールします。
2. Next Generation License Server のインストールフォルダの bin 配下にエクスプローラー等で移動します。デフォルトのインストール先は以下の通りです。
  - (ア) Windows: C:¥Program Files¥NV5¥license\_server¥bin
  - (イ) Linux: /usr/local/NV5/license\_server/bin
3. 管理者権限で管理者ツールを起動します
  - (ア) Windows: license\_administrator.exe を右クリックし管理者権限で起動
  - (イ) Linux: license\_administrator.sh を管理者権限で実行

4. Migrate License ボタンを押下し、Query ボタンを押下して、Flexnet License Server で認証されていたライセンス情報を取得します。無事取得できましたら、Migrate ボタンを押下して、認証されていたライセンスを新ライセンスシステムのものに切り替えます。
  - (ア) 検出されない場合や、エラーとなった場合にはドキュメント末尾の「お問い合わせ先」までその旨ご連絡ください。
  - (イ) 以前使っていたライセンスの事前解除は不要です。
5. View License ボタンを押下し、以前認証していたライセンスが表示されることを確認します。管理者ツールを閉じます。

### 【クライアント端末での操作】

1. ENVI 6.1 > SARscape6.1 の順にインストールします。
2. ENVI6.1 に含まれる「ENVI IDL License Administrator」を起動します
  - (ア) Windows: すべてのアプリ > ENVI 6.1 > ENVI-IDL License Administrator を起動
  - (イ) Linux: ターミナルで管理者権限にて `envi_idl_license_admin` コマンドを実行
3. Use License Server ボタンを押下して必要な設定を行い、Connect ボタンで接続します
  - (ア) Server には接続先サーバのローカル IP アドレスまたはドメイン名を設定します。サーバ機とクライアント端末が同じである場合、localhost と設定します。
  - (イ) Port はデフォルトでは 4080 となっています。何らかの理由により HTTPS 通信を明示してサーバ-クライアント間の通信を行いたい場合には、Secure ボタンにチェックを入れ、40443 ポートに変更してください。
4. View Licenses ボタンを押下し、Show Dashboard ボタンを押下して、指定のブラウザでサーバ機のライセンス管理ダッシュボードにアクセスできることをご確認ください。
5. ENVI IDL License Administrator を閉じ、ENVI/SARscape が利用できるかご確認ください。

6. ライセンス規約上、動作確認が済んだ段階で、サーバ機に認証されていた古いライセンス情報を破棄いただく必要があります。この操作は、以下のフォルダ配下のファイルを削除することで完了します。

(ア) ENVI5.6.x 以前の古いバージョンの ENVI を引き続きご利用になりたい場合、パッチを適用ください。なお、SARscape6.1 はこの環境では動作しません。

<p>C:¥Program Files¥Harris¥license¥flexera          C:¥Program Files¥Harris¥license¥flexera-sv          C:¥Windows¥ServiceProfiles¥NetworkService¥flexnetls¥idl_lmgrd¥flexnetls_licenses.mv.db</p>
<p>/usr/local/harris/license/flexera          /usr/local/harris/license/flexera-sv          /var/opt/flexnetls/idl_lmgrd/flexnetls_licenses.mv.db</p>

## すでに新ライセンスシステムにはなっており、認証されているライセンスのバージョンのみをアップグレードする場合の手順

すでに ENVI5.7/SARscape5.7 の時にセットアップした Next Generation License Server を引き続き利用する前提で記載しています。別のサーバ機をご用意いただく場合には、その端末を利用した新規でのセットアップと同じ操作になりますので、別紙で提供される ENVI および SARscape のインストールガイドをご参照ください。

### 【共通】

1. 製品ダウンロードサイトから必要なインストーラー式を入手します。
  - (ア) ENVI6.1 インストーラ
  - (イ) SARscape6.1 インストーラ

### 【サーバ機での操作】

1. Next Generation License Server のインストールフォルダの bin 配下にエクスプローラー等で移動します。デフォルトのインストール先は以下の通りです。
  - (ア) Windows: C:\Program Files\NV5\license\_server\bin
  - (イ) Linux: /usr/local/NV5/license\_server/bin
2. 管理者権限で管理者ツールを起動します
  - (ア) Windows: license\_administrator.exe を右クリックし管理者権限で起動
  - (イ) Linux: license\_administrator.sh を管理者権限で実行
3. Upgrade License ボタンを押下すると、認証されているライセンスがアップグレード可能かの問い合わせが行われます。検出された場合、Upgrade ボタンを押下し、認証されているライセンスのアップグレードを行います。
  - (ア) 検出されない場合や、エラーとなった場合にはドキュメント末尾の「お問い合わせ先」までその旨ご連絡ください。



(イ) 以前使っていたライセンスの事前解除は不要です。

(ウ) 使用している Next Generation License Server のバージョンが 4.1 以前の場合には、このボタンが存在しません。この場合には、バージョンのアップグレードを行うか、認証されているライセンスを Deactivate License ボタンから一度解除し、その後 Activate License ボタンから再びライセンス認証を実施ください。

4. View License ボタンを押下し、認証していたライセンスがアップグレードされて表示されることを確認します(feature の値を確認します)。管理者ツールを閉じます。

### 【クライアント端末での操作】

1. ENVI 6.1 > SARscape6.1 の順にインストールします。
2. ENVI6.1 に含まれる「ENVI IDL License Administrator」を起動します
  - (ア) Windows: すべてのアプリ > ENVI 6.1 > ENVI-IDL License Administrator を起動
  - (イ) Linux: ターミナルで管理者権限にて `envi_idl_license_admin` コマンドを実行
3. Use License Server ボタンを押下して必要な設定を行い、Connect ボタンで接続します。ENVI5.7 の頃に設定済みの場合、この操作は不要です。
  - (ア) Server には接続先サーバのローカル IP アドレスまたはドメイン名を設定します。サーバ機とクライアント端末が同じである場合、localhost と設定します。
  - (イ) Port はデフォルトでは 4080 となっています。何らかの理由により HTTPS 通信を明示してサーバ-クライアント間の通信を行いたい場合には、Secure ボタンにチェックを入れ、40443 ポートに変更してください。
4. View Licenses ボタンを押下し、Show Dashboard ボタンを押下して、指定のブラウザでサーバ機のライセンス管理ダッシュボードにアクセスできることをご確認ください。
5. ENVI IDL License Administrator を閉じ、ENVI/SARscape が利用できるかご確認ください。